

文法道場

Q. これ、解けますか？

次の文中の助動詞を抜き出し、意味、活用形を答えよ

この曲を聴くと、あの人のことが思われる。

正解 れる・自発・終止形

Q. 何を勉強すればいいのか？

とかく文法の勉強法はわかりにくい。何はともあれ活用表を丸暗記しようという人間は多いが……ちよつと待て。活用表の意味をわかっている？ 意味不明なものを暗記することほどカッターライことはない。それに活用表を丸暗記しなくても解ける問題は結構ある(活用表はルールを押さえると、かなり推測可能)。こういう問題をまず解けるようにすること。つまり解き方を最初に覚えようということ。それから順番に活用表を覚えていく。解き方がわからなければ、むやみに覚えても解けない。設計図がなければ材料があっても物はできないのだ。

Q. 覚える順番は？

とはいえ、覚えなければいけない事も当然ある。しかし物事には順序があるので、覚える順番というのもまたあるわけだ。余談だが、私の知人でバンドを始めると言い出した奴がいたが、ドラムのそいつが最初に練習したのはカッコーイイステイクの投げ捨て方だった……。

助動詞を勉強する場合――

1. どんな助動詞があるか(れる、せる、たがる、らしい、だ、ない、よう……等)
2. 活用形の名前とひつつく言葉(未然形・連用形・終止形・連体形・仮定形・命令形)
3. 助動詞の意味(受身・尊敬・自発・可能・様態・断定……等)
4. よく出る問題のパターン(入試対策では特に重要。「ない・らしい」の識別など)

→(1)までは最低限。(2)までは抑えないと問題はまず解けない

5. 助動詞の接続
6. 活用表の残ったところを暗記していく

それでは次のページから、この順番に沿って4までを解説していく。チェック問題もはさんでいくので、ちゃんと解いてみることに。できなければ、どうやったらその答えが出るのか、ちゃんと考えること！

1. どんな助動詞があるのか

どんな助動詞があるのか。これを知っておかなければ問題を解くどころの騒ぎではない。たとえば助動詞を抜き出せと聞かれた時、どんな言葉が助動詞かを知らずに助動詞が探せようか、いや探せまい(反語)。たとえるなら、財布落としたから捜そうにも、自分の財布がどんな形だったか忘れた、みたいなものだ。

助動詞一覧

れるられる せるさせる ぬ うよう まいたい たがる たます そうだらしい
ようだ だ です

18. ただし実際には「そうだ」が二種類あるので、19種類になる。ここで抑えなければいけないポイントは、「文章の中から、助動詞を探すことができるようになる」。注意すべきポイントは「ぬ」で、これは「ん」に変わる時があること。

例「そんなことはできぬ」↓「そんなことはできん」

助動詞が厄介な点に、活用する(単語の終わりが変化すること) ことがある。でも単語の基本的な形(専門的には語幹ごかんと言う)は一緒なので、基本形をしっかり覚えていけば推測はできるし、問題演習で間違ったものだけを活用表でしっかり覚えておけばいい(ぬは推体形がずなど、分かりにくいものも多少はある)。

2. 活用形の名前とひっく言葉

これも覚えておかなければ、問題は解けない。なにせ活用形を答えよと問題では訊かれるのに、活用形の名前が分からないではお話にならない。記号で答えよと書いてあるのに解答をそのまま書いてしまうようなものだ。偶にある。

未然形・連用形・終止形・連体形・仮定形・命令形

これが活用形だが、覚えるときはぜひこの順番で覚えてもらいたい。なぜか。後々活用表を覚えるとき、この順番で並んでいるので、一緒に覚えておいたほうが効率がいいからだ。呪文のように唱えて覚えるべし。

そして活用形を覚えるときには、「ひっく言葉」を覚えるのがいい。ひっく言葉というのは、各活用形のすぐ後に続く言葉で、活用形を調べたりするのに大変役立つ。全部の助動詞や動詞の活用表を覚えることに比べて、こっちはたったの6個のルールですむ。これを使わない手はない。

未然形 (ない・う)
連用形 (た・です・い)
終止形 (。↑文の終わりの形)
連体形 (もの・人・事)
仮定形 (ば)
命令形 (。！↑命令する形で終わる)

↑このルールは、動詞や形容動詞にもそのまま使える。

厄介なのは連用形で、とりあえずこの二つのどちらかがひつつけば、連用形だが、他にも形があったりするので、**未然・終止・連体・仮定・命令のどれでもない形と覚えておく**のが良いだろう。(ここまでの知識で、最初の問題の2-3は解ける)

ただ、未然形につながる「ない」について、ひとつだけ注意点があります。それは不可能の意味ではなく、○○しない、という意味になるようにつなげることです。じゃあ次の文で未然形に活用されているのはどっち？

ニワトリは飛べない () ニワトリは飛ばない ()

〜ないの使い方
「ない」は動詞の活用の種類を見分ける時にも使えます。サ変とカ変はそれぞれ一つずつしかないのので覚えるとして、「ない」を付けたときの**動詞の最後の音が重要**です。
A段なら五段活用。イ段なら上一段活用。エ段なら下一段活用。
この考え方は高校に行っても使えます(古文で)。とてもうつついしいですが、覚えていないともうつつうつつしいことになります。

3. 助動詞の意味

助動詞の意味というのは、例の受身・尊敬・自発・可能・様態・断定などというやつだ。名前の分かりにくさが、意味を分かりにくくしている。これは闇雲に覚えてしまうよりも、一度しっかり理解しないと、いつまでもあやふやになってしまう。オススメは全ての助動詞の全ての意味について、自分なりに作文してみる。たいした数ではないし(本当に全てを作っても40文にもならない上、一つの文章にいくつか助動詞が入っていればもつと少ない)、自分で考えた例文の方が、断然面白い。

例・可能の「られる」……このキノコは食べられる。

受身(他から何かをされる様子を示す)
尊敬(目上の人やお客様の動作などを示す)
自発(自然とそうなる形。心の動きを示す)
可能(○○できる、という意味を表す)
使役(誰かに何かをさせる様子をしめる)
打消(動作を否定することを示す)
推量(特に根拠のない不確かな推測を示す)
意思(何かの動作をすることを決意するような形)
勧誘(他の人を何かに誘う形)
打消推量(○○しないでだろうという、不確かな推測を示す)
打消意思(○○しないぞ!という意味を示す)
希望(○○したいという願いの形を示す)
過去(以前にもう動作が終わったことを示す)
完了(ちようど動作が終わったことを示す)
存続(継続した動作を示す形)
丁寧(名前そのままの意味となります)
様態(自分の目で見て、「こうなりそうだ」と考えていることを示す)
伝聞(人から聞いて「こうなるそうだ」と考えていることを示す)
推定(不確かだが、根拠に基づいて多分そうだろうと推測していることを示す)
比況、たとえ(何か似ているものに例えること。比喻の用法のこと)
例示(具体的な一例を挙げている場合)
断定(言い切る形。コロ助のナリは古い断定の助動詞)
丁寧な断定(断定の働きと同じ言い切る形である。ただ丁寧な響きです)

4. よく出る問題のパターン

ここは肝。受験レベルの内容もちよく扱っているけど、がんばって理解しよう。
ところで、助動詞でよく問われるのは意味だ。だから文中の助動詞の使われ方から意味が分かるようにしておかないと駄目。で、まず助動詞一つに意味が一つしかない物は……考
えなくても答えが決まるから覚えよう。(助動詞の抜き出し等はできているとして)これが
分からないなら、それはもう分かる分からないの話じゃない。なにしろこんな名前はそも
そも学者が勝手に付けたものだから、分かるものではない。

問題は複数の意味が一つの助動詞にあるものと、他の助動詞や形容詞などと、ひらがな
で書いてあると同じに見えるものの区別(識別しべつといいます)です。ここではその識別を扱っ
ていきます。とは言え、さっきの意味リストをしつかり理解していれば大体出来るはず。

◆「れる」「られる」の識別

受け身・損家・自発・可能の意味を頭にたたき込む。これは意味から考えていくしかない。受け身だと、「誰(何)にされた」の所は省略されがちなので注意！あと、心の動きは**まず自発**になります。

◆「させる」の識別

これは結構面倒。「せる」が「させる」の中にもあるからですね。要は「せる」なのか「させる」なのか分かれれば良いわけです。その手順は以下の通り。

1. 文節に分ける(ここで「させる」が一文節になれば、「せる」)
2. 「させる」の直前が単語の途中かどうか(途中なら「せる」)↑例・押させる
3. それ以外は「させる」

◆「だ」の識別

結構簡単。「ようだ」「そうだ」とか他の助動詞の一部になっているものは、それぞれの助動詞。問題は**断定の「だ」と過去・完了の「た」が濁ったもの**の識別です。その方法は直前が体言(＝名詞)なら断定。動詞なら過去・完了。

◆「らしい」の識別

これは、助動詞としては推定しか意味がないのですが、ちよくちよく出題されます。「らしい」の意味が、「いかにも」を足しても変じやなかった場合、○○の性質を持つ、○○っぽいと言ひ換えられる場合、助動詞ではありません。

◆「ようだ」の識別

比況(たとえ)、例示、推定のどの意味が使われているのか訊かれます。次のように見分けてください。比況と例示が紛らわしいので注意。

1. 「らしい」と言ひ換えられる↓推定
2. 「まるで」という言葉を足してもOK↓比況(たとえ)
3. それ以外。もしくは具体例を挙げている↓例示

◆「ようだ」の識別

1. **自分が目で見て**「多分こうなるだろう」と考えている場合 ↓**様態**
2. **人から聞いて**「どうやらこうなるらしい」と考えている場合↓**伝聞**

◆「ない」の識別

動詞、動詞につながっている場合↓助動詞の「ない」

それ以外↓形容詞

おまひ (おくまどまひつゝる、参考になるサイト)

<http://study-japanese.hp.infoseek.co.jp/grammar/top.htm>

<http://yslibrary.cool.ne.jp/harojapa000top.htm>

次の各文の——線部が助動詞であれば、その助動詞の表す意味を答え、助動詞でなければ×をつけなさい。

- ① 体育祭は来月に開催される。
- ② 卒業式には、市長も来られるはずだ。
- ③ 私は百メートルを十三秒台で走れる。
- ④ 空気が澄み、富士山がはっきり望まれる。
- ⑤ 冬が近づくにつれて、母の病気が案じられる。
- ⑥ 倒れるまで、がんばってみよ。

次の各文の——線部が助動詞であるものを選んで、番号で答えなさい

- ① 雨はもうあまりひどくない。
- ② 人生は本当にはかないものだ。
- ③ 一郎くんは、今シーズンはホームランがない。
- ④ 少し熱があるようだから、遠足には行かない。
- ⑤ この花は君が言うほど美しくない。

次の文中の「れる」「られる」の意味を、それぞれ後のア～エから選んで答えなさい。

- ① 母のことが案じられる。
- ② 来賓の方が話された。
- ③ みんなに追い越される。
- ④ ボールが投げられない。

ア・受け身　イ・可能　ウ・自発　エ・尊敬

次の各文から、助動詞を一つづつ抜き出して答えよ。助動詞がない場合は×を答えよ。

① 名前を呼びますから、返事をしなさい。

() ()

② 彼の描いた絵はとてもすてきだ。

() ()

③ 彼は自分の両親さえもだます男さ。

() ()

④ 寒さが厳しかろうから、体には気をつけてください。

() ()

⑤ 君の答えは全て正しい。

() ()

次の各文中の「そうだ」の意味で、様態のもの番号を全て丸で囲み、伝聞にはばつをしなさい。

① 母は、むかしの写真を見て懐かしそうな顔をしている。

② 写真は夕方にはできあがるそうだ。

③ 彼にはあの薬がどうしても必要なのだそうだ。

④ この寒さだと、明日はまた雪が降りそうだ。